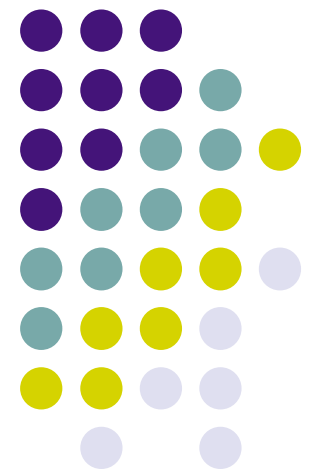
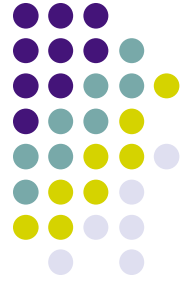


# 難治性後部鼻出血への対応 ～手術治療を含めて

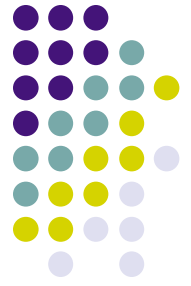
---





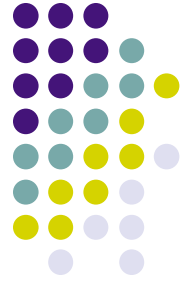
## なぜ難治性なのか？

- 血があふれるように出てくる
- 出血点がみえない
- 血を見て患者が興奮
- 耳鼻科に慣れないスタッフだとまた興奮
  - まずは優しく毅然とした態度で興奮をなだめる
  - 痛みで興奮を増すことをしない
  - 不安をあおることをしないのが鍵？



# 鼻出血症例が来たら

- 自信たっぷりの表情で大丈夫と言う
- 血圧が高ければミオコールスプレーひと吹き
- 圧迫(ボスマンガーゼ又は軟膏ガーゼ)
- 後部出血ではバルン併用
- 投薬      降圧剤      黄連解毒湯
- トランキライザー
- 点滴      止血剤(控えめに)
- ワーファリンやパナルジンは中止
- ひたすら安静



# ガーゼ、バルン留置のこつ？

軟膏ガーゼは……

出血点へ確実にあてる

血圧を上昇させないようにソフトに

バルンは……

咽頭へのガーゼ落ち込み防止を目的として

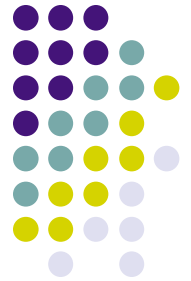
強く引っ張らない(血圧を上昇させないため)

深さ8cm、水2－3cc(ウロ用を使用)

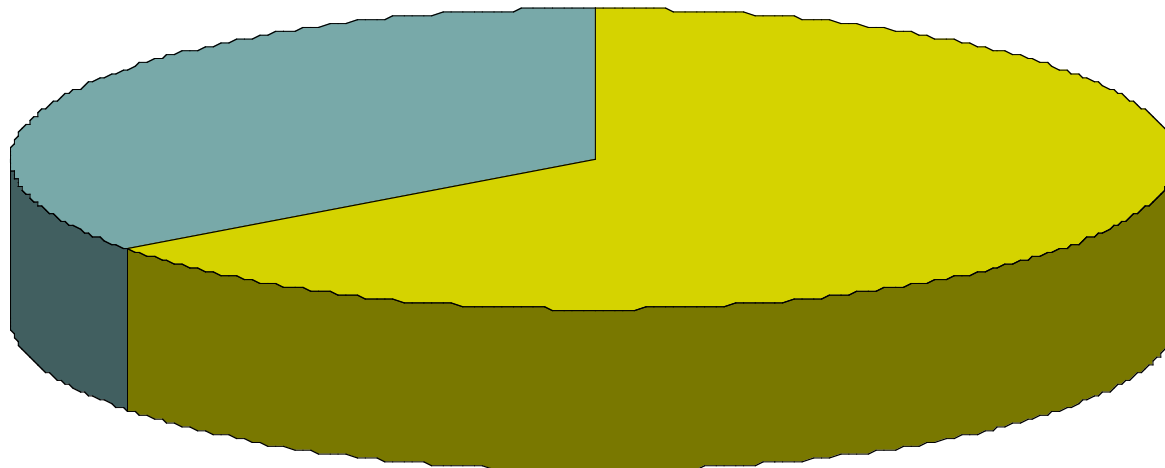
痛みをとまなうベロックタンポンは、使用していない

# 鼻出血入院 出血部位

n=65 (H14.4~H18.3 4年間)



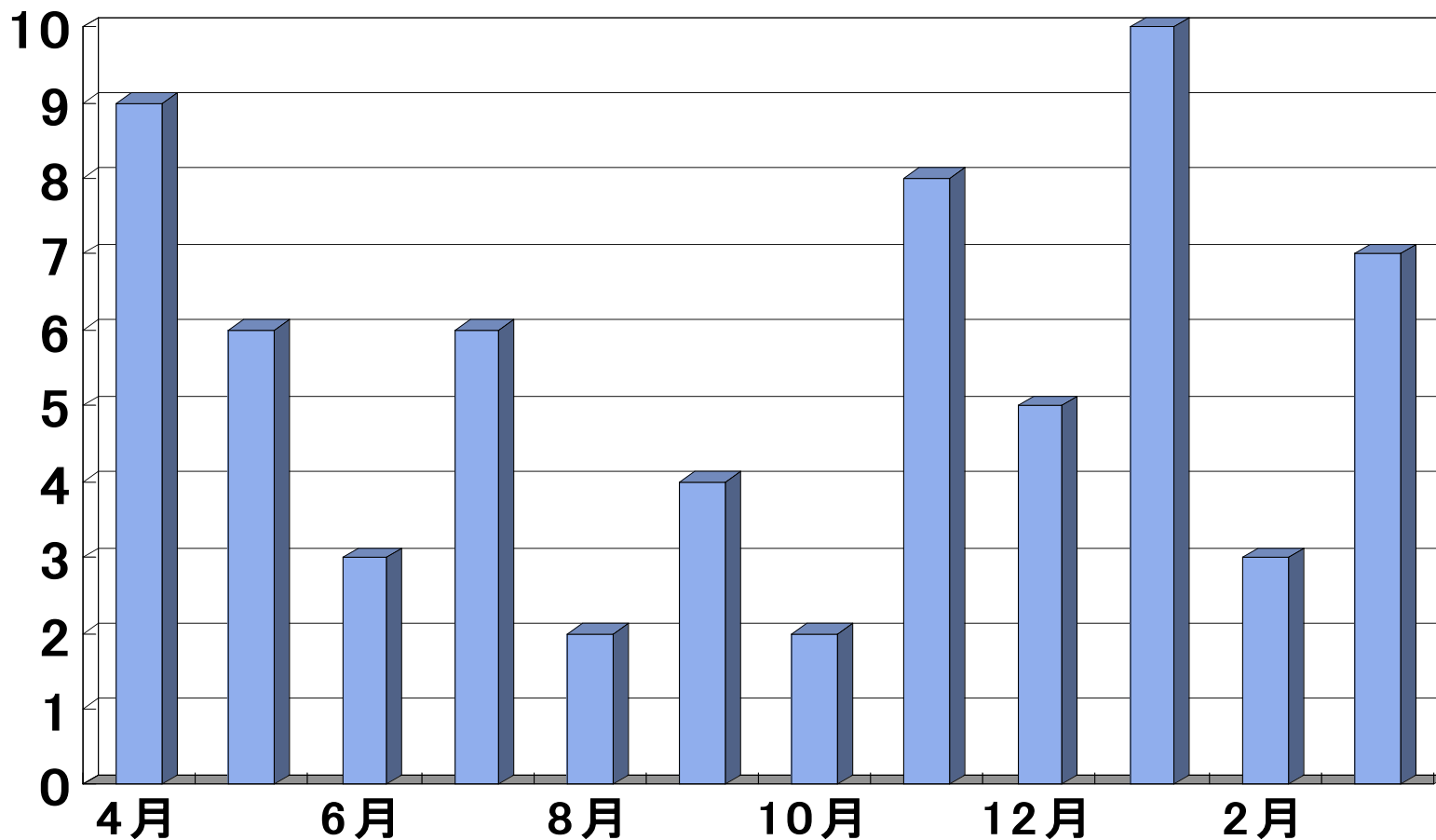
他 23(36%)



後部 42(64%)



# 鼻出血入院 月別患者数



n=65

(H14.4~H18.3)